

胃部レントゲン（バリウム）検査を受けられる方へ

方法：バリウム内服による胃部レントゲン撮影(検査のおおまかな流れは以下のようです。)

1



問診後、検診車へ移動し少量のバリウムで発泡剤(炭酸)を飲みます
※ゲップをしないでください。

検査台へ上り、残りのバリウムを飲み、検査が始まります

2

検査台が動きます



3



別室から指示があります

4



検査台の上で色々な体勢で数枚撮影します
※この時もゲップをしないでください。

5



さいごに下剤を服用します
※バリウムを排出するため

※受けられる際の注意事項※

■バリウムは検査を行う上で必要な薬剤ですが、便秘、下痢、肛門痛や嘔気などの副作用が出現することがあります。そして、誤嚥、アレルギーによるショック、腸穿孔、腸閉塞など重篤な偶発症も報告されています。

何らかの異常が生じたときは、緊急入院・手術を含めた治療が必要となります。

■また狭い検査台での検査になります。摩擦による皮膚の損傷や外傷等が起こる可能性があります。

上記の事態があり、費用が発生した場合はすべてご自身の負担となります。

※胃バリウム検査が困難な方（40～74歳）を対象に胃内視鏡検査を実施予定です。

申し込みは広報等でご案内します。

※安全に検査を受けていただくため、上記をご了承の上受診をお願いいたします。

また既に胃部症状がある方や、上記検査に心配があるかたは医療機関にご相談ください。